

古城江観

蔵出しスケッチ展

# 時を旅する

従軍画家が見た中国海南島

NOVEMBER 1-30, 2023

出水市役所高尾野支所  
エントランスホール・図書館

主催：高尾野郷土館・古城画伯コレクション館

出水市歴史民俗資料館 指定管理者（株）図書館流通センター

**入場無料**

古城江観  
《三亜港市場付近》  
(部分)

## 2023 古城江観 蔵出しスケッチ展

# 《時を旅する》「従軍画家が見た中国海南島」

1938(昭和13)年、古城江観は向井潤吉らと発起人となり大日本陸軍従軍画家協会を設立します。2年後の1940(昭和15)年、50歳で海南島攻略戦に従軍し、読売・朝日・毎日新聞にスケッチを連載します。今回、高尾野郷土館・古城画伯コレクション館の収蔵品の中から、海南島攻略戦を中心とした蔵出しスケッチ展を開催いたします。港に遠く小さく描かれた軍艦、海岸に急造されたと思われる野営地のテント、荒野に屹立する大砲など、緊張感あふれる筆致や着彩をご堪能ください。

また、およそ80～90年前の日中戦争とは何だったのか、従軍画家を志した古城江観の心はどのような動きをたどったのか等々、別紙の年表を参考に、当時の戦争の時代にも思いを馳せていただければ幸いです。

《会 場》 出水市役所高尾野支所玄関ホールと高尾野図書館  
《開催期間》 2023年11月1日(水)～11月30日(木)



### 古城江観 略歴

- 1891 (明治24) 年 高尾野町麓に生まれる。本名「三之助」。  
日本画を志し、黒田清輝に認められ、東京美術学校教授の福井江亭、山元春挙に日本画を学ぶ。
- 1921 (大正10) 年 第3回帝国美術展出品作『筏2題』は英国王室所蔵に。
- 1923 (大正12) 年 東南アジアなど旅行 (～1927)
- 1927 (昭和2) 年 ヨーロッパなど旅行 (～1932)
- 1932 (昭和7) 年 アメリカなど旅行  
戦後、千葉縣市原市の美術会会長、文化財保護、ロータリークラブ、美術家連盟員を務める。
- 1973 (昭和48) 年 高尾野町に作品や収集品を寄贈
- 1988 (昭和63) 年 千葉縣市原市にて永眠。97歳。

### 高尾野郷土館・古城画伯コレクション館



古城江観「海の王子 イタリアヴェニス」

出水市指定文化財

1階は、古文書などの歴史資料と、農具や漁具などの民俗資料が約1,400点、2階は、古城江観氏寄贈の絵画作品や世界各地の民俗資料など約700点が展示されています。

電話 0996-82-1467

休館 毎月第3金曜